



<お知らせコーナー>

北関東自動車道 桜川筑西 IC～真岡 IC が開通しました

北関東自動車道は、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150kmの高規格幹線道路であり、茨城、栃木、群馬三県の主要都市を結ぶとともに、東水戸道路や常陸那珂有料道路を経て、茨城港(常陸那珂港区)に直結しています。

茨城県内では、昨年12月20日に「桜川筑西IC(インターチェンジ)～真岡IC」間が開通したことにより、県内区間延長約54km全てが開通し、常磐自動車道と東北自動車道が結ばれました。この開通により、茨城港(常陸那珂港区)の利用促進や茨城空港へのアクセス向上、ひたちなか地区をはじめとする県内各地への企業誘致の促進、さらには広域観光の促進など幅広い分野での北関東地域の連携強化が期待されています。

平成23年度までに関越自動車道までの全線が開通する予定です。

なお、開通による整備効果は次ページのとおりです。

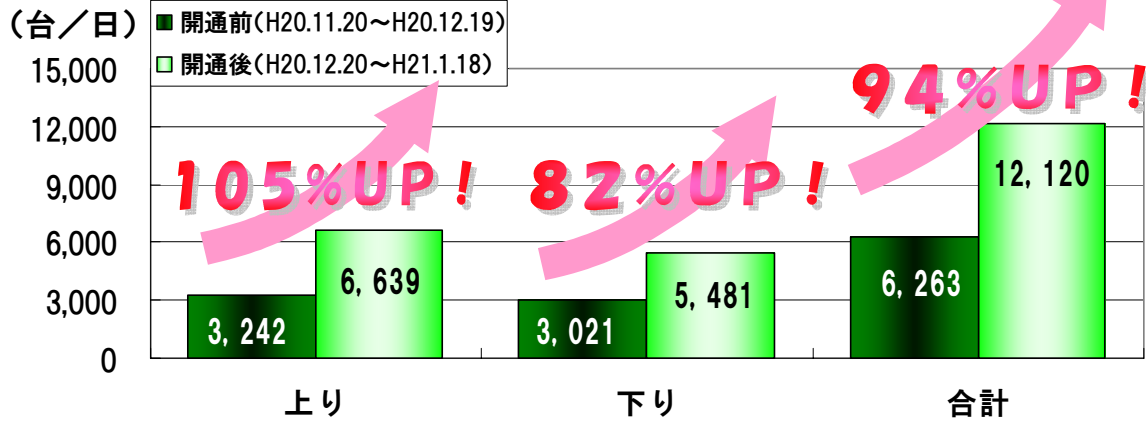


(筑西桜川ICから真岡方面を望む)

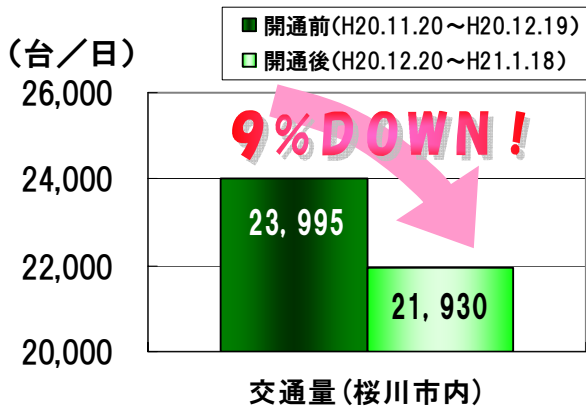


北関道の開通効果

北関道開通前後 1 ヶ月間の比較(桜川筑西 I C ~ 笠間西 I C)



北関道開通前後 1 ヶ月間の国道 50 号の交通状況



全ての調査地点で交通量が減少!

- ・桜川市内の交通量が23,995台/日から21,930台/日へ減少。
- ・筑西市内の渋滞長が490mから360mへ減少。
- ・笠間市から結城市までの約50km間で物損事故が73件から68件へ、人身事故は23件から20件へそれぞれ減少した。(茨城県警調べ)

群馬県太田市(太田桐生 I C 付近) ~ 常陸那珂港 I C までの走行時間

- ① 国道50号を利用した場合 ⇒ 約3時間30分
 - ② 北関道を利用した場合 ⇒ 約1時間20分 ⇒ 約2時間10分短縮!
- (※①平日昼間(1/30)の実走時間)
(※②北関道の全線開通時)

